

2022年4月

民俗 — No. 24

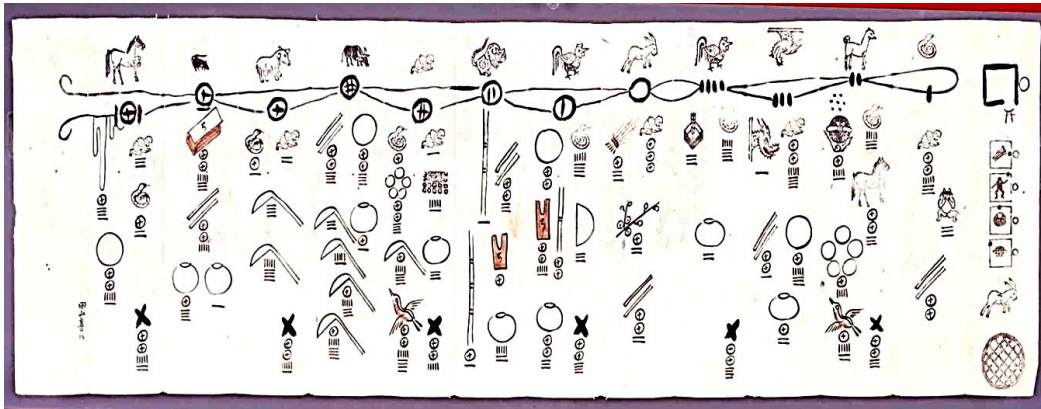
けんぱくものしりシート

た やま ごよみ 田 山 曆



おめ よこ なが かみ
折り目のある横に長い紙に
いろいろ え
色々な絵がかかっているよ。

ほんとう うま え
本当！へびや馬のような絵もあるわ。
し ひだりした なに
字は左下にあるだけよ。何かしら？



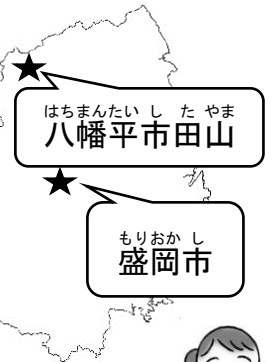
てんめい
天明3(1783)年

たやまごよみ
田山曆

ケンくん、ハクちゃん。こんにちは！こちらは文字を読めない人でもわかるように
え きごう あらわ こよみ
絵や記号で表された曆(カレンダー)なんです。このような曆を絵曆といいます。



いわて え どじだい もりおか たやま げんざい はちまんたいし たやま
岩手では、江戸時代に盛岡と田山(現在の八幡平市田山)で
しゅるい えごよみ つく なんぶ え
2種類の絵曆が作られていました。これをまとめて南部絵
ごよみ
曆とよびます。ご覧いただいている曆は、田山で作られ
た「田山曆」です。1年の季節の節目や年中行事などが、
のうぐ せいかつようぐ みちか え あらわ
農具や生活用具などの身近なものの絵で表されています。
ねんかん のうさぎょう めやす た むら か やく
1年間の農作業の目安を立てやすいようにと、村の書き役
しよき つと ぜんばち ひと つく
(書記)を務めていた善八という人が作ったものです。



はちまんたいし たやま
八幡平市田山

もりおかし
盛岡市



たやまごよみ ひと お げつ お かたち
田山曆は一折りに1カ月をあてて、折りたためる形を
しています。広げると横長で1mほどになります。古い
しゅるい ひろ よこなが ふる
曆は手書きの部分もありますが、多くは木活版木とよ
ごよみ てが ぶぶん おお もつかつはんぎ
ばれる、えなどをほったき
えなどをほったき
作られています。善八の子孫にあたる八幡家には、85点の木活版木が残されています。



たやまごよみ めいじじだいはじ ごろ つく つた げんざい のこ
田山曆は、明治時代初め頃まで作られていたと伝えられていますが、現在、残っ
て
ている曆は、江戸時代のものです。

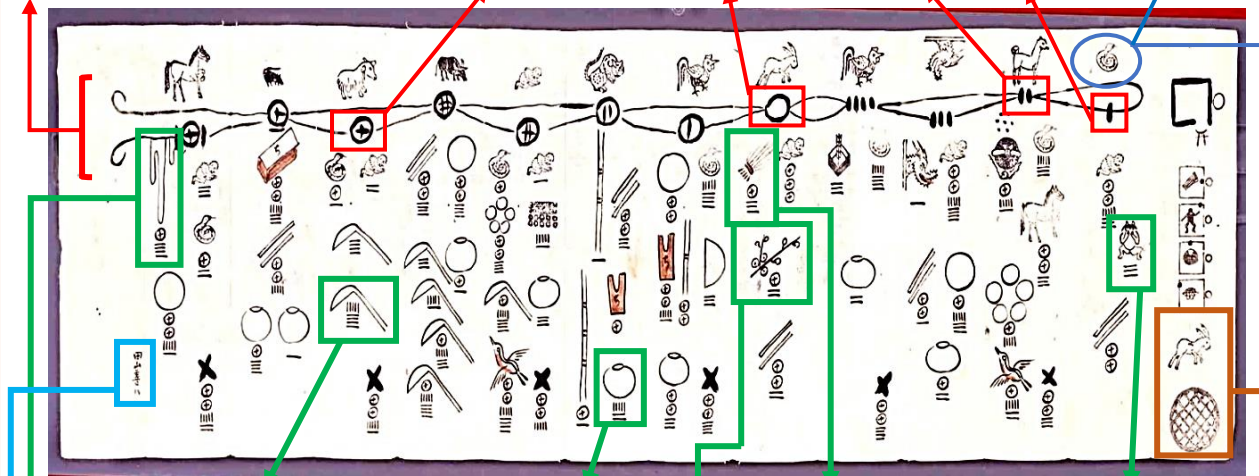


それでは、現在、実物として残っている田山暦の中で最も古い、天明3(1783)年の暦をもとに読み方を少しご紹介します。

横の線についている太い点
I やO、⊕などで月を示し
それが下の線にある月は29
日ある小の月、交わると
ころにある月は30日ある大の
月を表しています。

その月の1日が十二支では何にあたるかを示してい
ます。へびの絵ですので、1日はへび(巳)の日です。
となりは、いぬ(戌)、たつ(辰)、とり(酉)です。

10月 小の月 5月 大の月 2月 大の月 1月 小の月 へび(巳)



稲を刈るかまの
絵で田刈りよし。
このか 9日。(10月)

のうさくぶつ たね い
農作物の種を入れる
種つぼの絵で種まき
よし。7日。(7月)

いね なえ たば え
稲の苗の束の絵
で田植えよし。
13日。(5月)

な 泣いている鬼の
絵で節分。線が3
本で3日。(1月)

つららの絵で寒の入り。1年で一番
寒い時期に入ります。14日。(12月)

うめ えだ え つゆ い
梅の枝の絵で梅雨入り。⊕で10
と、線2本で12日。(5月)

「田山村善八」とあり、田山村の善
八が作ったことが書かれています。

うさぎの絵と豆などをふるって分けるとおしと
いう農具の絵でうさぎ(卯)年を表しています。

当時は月の満ち欠けに太陽の動きを加えた太陰太陽暦(今でいう旧暦)を使っていたので、今の私たちが使っている太陽暦とはちがって、1月が今の2月頃になります。

参考 『南部絵暦』岩手県立博物館 1983年/ 『田山暦・盛岡暦を読む』熊谷印刷出版部 2004年 他

「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時
のもので、最新情報ではございませんので、
あらかじめご了承ください。
「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆し
ております。



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

モッチャン